

意識調査の結果と分析

I 調査の概要

1. 調査目的

人権・同和問題に関する市民の意識の実態を把握し、今後の人権・同和問題解決に向けての啓発活動の基礎的資料とするため実施。

2. 調査方法

- (1) 調査対象 丸亀市内に居住する満 18 歳以上の市民 3,000 人（外国籍含む）
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送法
- (4) 調査時期 2019 年（令和元年）8 月
- (5) 報告書作成業務委託先 特定非営利活動法人 香川人権研究所

3. 回収結果

3,000 通の調査票を送付し、返送されてきた調査票は 1,021 票であったが、辞退や白紙が 7 票あったため、集計、分析の対象にした有効調査票は 1,014 票であった。回収率は 33.8%であった。

前回調査では 3,000 通の調査票を送付し、有効調査票は 1,063 票、回収率は 35.4%だった。

4. 報告書の見方

「前回調査」とは、2014 年 8 月実施の丸亀市人権・同和問題意識調査のこと。

「県調査」とは、香川県が 2019 年 5 月に実施した「香川県県政世論調査」のこと。

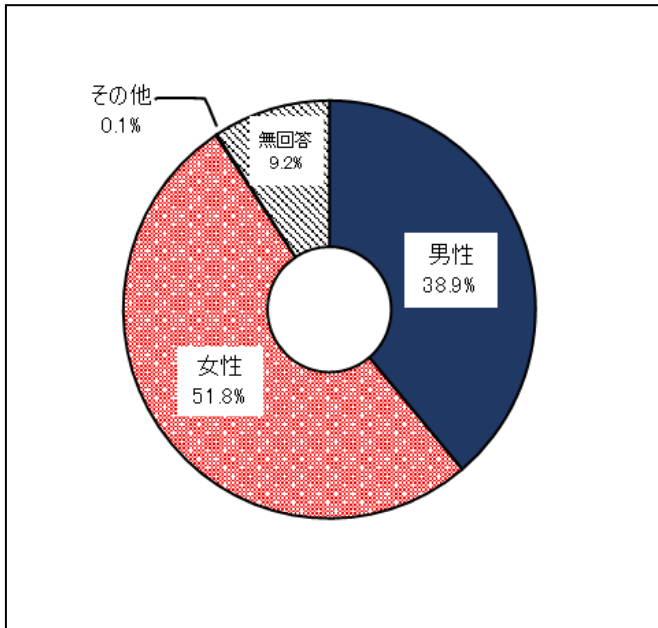
回答比率は、小数点以下第 2 位を四捨五入しており、合計が 100.0%にならないことがある。

複数回答の設問の場合、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。

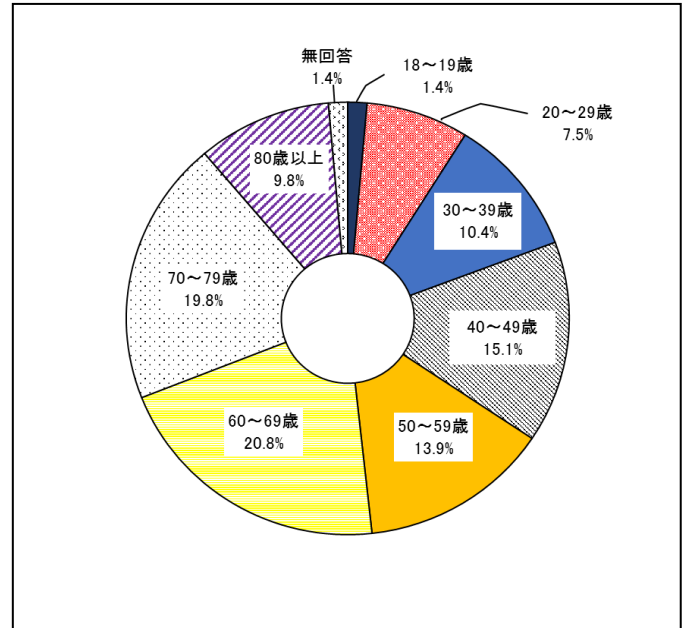
各設問の「その他」欄に記入された回答、及び、自由記述欄に寄せられた意見については、句読点も含めてほぼ原文のまま掲載している。

5. 回答者の属性

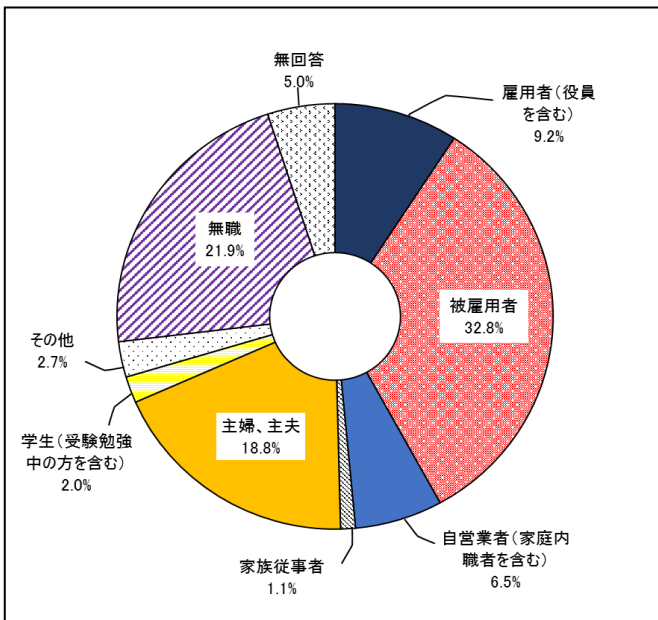
(1) 性別



(2) 年齢



(3) 職業



(4) 職種

